

雪中活動

冬芽探し（ツリーウォッチング）

5

1 活動のねらい

葉を落としている植物が、冬の間どのような状態になっているかを細かく観察・スケッチし、調べることで、冬芽が春に花を咲かせるために大切な役割を担っていることを知ります。

2 育てたい能力

B2 自然への関心

B1 節度・節制

A1 自立

※Aは心理的・社会的能力 Bは徳育的能力 Cは身体的能力 詳細は別紙参照

3 活動場所

- ・林道
- ・自然の家周辺

4 活動時期

12月～2月 積雪時

5 所要時間

2時間～3時間

6 指導形態

団体の引率者が指導者となって行う活動

7 準備物

【団体・個人で準備するもの】

- ・活動に適した服装
- ・帽子
- ・手袋
- ・スケッチ用紙
- ・筆記用具

【自然の家で貸し出しできるもの】

- ・コース地図
- ・ループ
- ・図鑑
- ・スノーシュー
- ・輪かんじき
- ・無線機1台（自然の家と団体との緊急連絡用）
- ・歩くスキー式（スキー板、ストック、靴17.5cm～28cm、くつ用スパッツ）

8 活動の手順

(1) 事前

- ①自然の家職員と打ち合わせを行い、実地踏査で現地の状況を把握した上で計画を立てます。
- ②参加者の班編成をしておきます。
- ③安全に活動するため、活動に適した服装についての事前指導を行います。

(2) 活動

①出発にあたって、自然の家事務室に報告し、無線機等を借ります。



③つどいの広場等で、コース、時間、観察テーマ、調査内容等事前説明します。



⑤グループ内で観察・調査した結果を振り返ります。



⑦後片付けをします。
※必ず引率者が立ち会ってください。

②人数確認、服装・持ち物の点検、健康状態のチェックをします。



④フィールド内の植物を観察・調査します。広葉樹と針葉樹の違いについても観察します。



⑥グループの代表が全体の場で、観察・調査・発見したことを発表します。



⑧自然の家事務室に活動終了の報告をし、借用物品を返却します。
(破損等があればご連絡ください。)

9 留意点

- ・活動に使用した道具は、責任をもって返却してください。
- ・健康観察、準備運動を十分に行ってください。
- ・こまめに服の着脱を行い、体温を調整してください。
- ・植物を採ったり、木を折ったりしないでください。
- ・自然界の生き物を驚かさないように配慮しましょう。
- ・積雪時は普段行けないところも歩けるため、むやみにコース外に立ち入らないように注意してください。滑落してしまう場所や、危険なところは歩かないようにしてください。
- ・気温や天候等で雪の状態が変化します。十分注意してください。
- ・視界の悪い時等には、注意してください。
- ・ゴミは必ず持ち帰るようにしてください。

10 参考

- ・キハダなどの冬芽は、顔に見えるため、バリエーションとして、「冬芽顔探し」等も考えられます。

【ワンポイント雑学】

Q なぜ冬に葉を落とすのか？

A 気温が5℃以下になると植物の光合成がうまくいかなくなることで、葉や枝の細胞の動きが悪くなり、呼吸や水の吸い上げができにくくなるため。

Q なぜ冬芽は凍らないの？

A 冬芽がコートみたいな芽鱗で包まれていることと、秋から冬にかけて葉で作って出しておいた糖等の栄養分を細胞の中に蓄えているから。

